

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	久那瀬地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
栃木県那珂川町 栃木県	094111 090000	1	H22～H24	H22
活性化計画の区域				
久那瀬地区（栃木県那珂川町） 区域面積 2 1 1 h a				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
地域産物の販売額の増加	2.44%	2.43%	99.6	

(コメント)  
農産物直売施設の整備により、陳列スペースが拡大され、また、店内通路を広く確保できたことにより、計画期間前と比べ地域農産物の販売額増加が図られた。  
また、利用者1名あたりの購入単価においても、計画期間前と比べ増加した。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
農林水産物直売 ・食材提供供給 施設	・実施設計 一式 ・農林水産物販売施設 木造平屋建1棟165.62㎡ ・附帯施設（駐車場）舗装757.2㎡ ・備品（業務用冷蔵庫、冷凍冷蔵庫等）一式			久那瀬農産物販売組合
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
久那瀬農産物販売組合	平成22年度	平成22年度	平成23年3月31日	
事業の効果				
店内通行スペースが広がったことにより、購買客がスムーズにすれ違うことが可能となり、他の購買客を気にすることなく商品を吟味することができるようになった。 また、陳列スペースを拡大することにより、陳列商品が増えたこと及び選びやすいレイアウトとなったことで、販売額の増加につながった。				

### 3 総合評価

(コメント)

農産物直売施設の整備により、陳列スペースが拡大され、また、店内通路を広く確保できたことにより、計画期間前と比べ地域農産物の販売額増加が図られた。

また、当該施設完成と同時期に福島第一原発事故が発生し、農産物の放射能汚染の風評被害により売り上げが一時落ち込んだが、その後の取組みとして、県で行う放射性物質モニタリング検査の実施により農産物の安全性を確認し、イベントなどにより那珂川町産農産物は安全であることをPRすることにより売り上げの回復が図られた。

### 4 第三者の意見

(コメント)

那須南農業協同組合 代表理事組合長 山田 清

久那瀬地区は中山間地域であり、水田が少なく少量多品目の園芸作物が中心の農業経営となっている。市場出荷はある程度の数量確保が必要なことから、農産物直売所での販売は、この地域の農業に最適な販売方法であり、直売所によって地域の農業が活性化されている。

地域の農業者は、農産物直売所のイベント等により来客のニーズを把握し、意欲的に農産物を生産しており、農産物直売所は地域の農業振興に欠かせない施設となっている。